

3 環境衛生

1 公害苦情処理の状況

公害種類別苦情件数（12年度）（単位：件）

区分	新居浜市	別子山村	計
大気汚染	59		59
水質	7		7
騒音	10		10
振動	0		0
悪臭	26		26
その他	4		4
計	106	0	106

※新居浜市は平成12年度数値

現状

公害の苦情は、大気汚染と悪臭が大半を占めており、その原因は野外焼却によるものが多い。別子山村は、公害苦情はない。

課題

苦情内容により、迅速な対応が必要である。また、苦情内容に対する指導方針についても統一し、広域化することでの地域による指導内容に差が生じないようにする必要がある。

別子山村は、各自治会単位の小型焼却炉により処理されている。法律改正により、野焼きや小型焼却炉が使用できないことから、広報等で十分に村民にPRする必要がある。

2 環境衛生

し尿処理人口 (単位：%)

区 分	新居浜市	別子山村
水洗化	72.3	25.2
公共下水道	40.3	0.0
コミュニティプラント人口		0.0
浄化槽人口	32.0	25.2
非水洗化	27.7	74.8
計画処理人口	100.0	71.0
自家処理人口	0.0	29.0

平成12年度末現在

現状

認可区域内においては、公共下水道方式となるため、新居浜市の認可区域外と別子山村全体が対象区域となる。

課題

合併処理浄化槽の設置率が低い別子山村に対し、補助制度枠の拡大が強く望まれる。

3 ごみ処理の状況

可燃ごみ処理量の推移 (単位：t、%)

	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度	
	処理量	割合	処理量	割合	処理量	割合	処理量	割合
新居浜市	37,914	100.00	37,970	100.00	39,355	100.00	41,162	100.00
別子山村		0.00		0.00		0.00		0.00
計	37,914	100.00	37,970	100.00	39,355	100.00	41,162	100.00

不燃ごみ処理量の推移 (単位：t、%)

	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度	
	処理量	割合	処理量	割合	処理量	割合	処理量	割合
新居浜市	18,517	99.92	19,318	99.91	18,284	99.90	16,031	99.89
別子山村	15	0.08	17	0.09	19	0.10	18	0.11
計	18,532	100.00	19,335	100.00	18,303	100.00	16,049	100.00
対前年比				104.33		94.66		87.69

粗大ごみ処理量の推移 (単位：t、%)

	平成9年度		平成10年度		平成11年度		平成12年度	
	処理量	割合	処理量	割合	処理量	割合	処理量	割合
新居浜市	1,390	99.86	1,434	99.72	1,385	99.86	2,233	99.73
別子山村	2	0.14	4	0.28	2	0.14	6	0.27
計	1,392	100.00	1,438	100.00	1,387	100.00	2,239	100.00
対前年比				103.30		96.45		161.43

現状

ごみ処理は、環境問題、最終処分場の確保などごみ問題を取り巻く環境は極めて厳しい状況にある。

ごみ量は増加傾向にあり、ごみの発生抑制、循環的な利用、適正処理が不可欠である。

課題

ごみの分別方法や有料化などに差があり、調整が必要である。

ごみの収集業務は、別子山村から出る総排出量は、新居浜市の1%にも満

たない量のため、収集車1台で全域をカバーできると思われる。

ただし、幅員の狭い道路や道路が凍結する冬期のごみ処理が課題となる。

4 ごみ処理施設の状況

リサイクルプラザ

	処理場	処理能力 (t/日)	備 考
新居浜市	清掃センター リサイクルプラザ	40	平成6年度稼働

一般廃棄物焼却施設

	処 理 場	処理能力 (t/日)	備 考
新居浜市	清掃センター	225	焼却施設は14年11月まで
新居浜市	廃棄物中間処理施設 (名称未定)	201	焼却施設は14年12月から供用予定
別子山村			

平成11年度末現在

一般廃棄物最終処分場

	処分場名	埋立開始	容量 (m ³)	容量 (m ³)	備考
新居浜市	新居浜市最終処分場	平成5年4月	335,000	157,287	
別子山村					

平成12年度末現在

現状

新居浜市は単独処理、別子山村は、可燃物は焼却処理を、不燃物は業者委託で対応している。

課題

別子山村には、一般廃棄物焼却施設、リサイクルプラザ、一般廃棄物処理場がないため、全て新居浜市の施設での対応となる。

ごみの収集業務は、別子山村から出る総排出量は、新居浜市の1%にも満たない量のため、収集車1台で全域をカバーできると思われる。

ただし、幅員の狭い道路や道路が凍結する冬期のごみ処理が課題となるの

で、このまま業者委託とする場合との比較が必要となる。

5 し尿処理の状況

区	分	新居浜市	別子山村
処理人口		35,586	154
処理率(%)		27.7	53.1
収集体制	直営	0	0
	委託	5社	0
	許可	3社	1社
収集料金等		従量150円/18ℓ	

現状

新居浜市は単独処理、別子山村は業者委託または、自家処理である。

課題

公共下水道、合併浄化槽の普及に伴い、処理人口は減少している。

し尿処理は、別子山村から出る総排出量は、新居浜市の1%にも満たない量のため、収集車1台の定期収集で全域をカバーできると思われる。

ただし、道路幅員が狭いことや、道路が凍結した場合の通行面での問題、及び業者委託する場合に市業者と村業者との比較が必要となる。

また、料金体系の格差を修正する必要がある。

6 し尿処理施設の状況

	処理場名	処理開始	処理能力 (kl/日)
新居浜市	衛生センター	平成2年	140
別子山村			

現状

新居浜市は単独処理、別子山村は業者委託または、自家処理である。

課題

し尿処理は、別子山村から出る総排出量は、新居浜市の1%にも満たない

量のため、収集車1台の定期収集で全域をカバーできると思われる。

ただし、路面凍結などで、搬入計画に誤差が生じる可能性がある。

7 墓地、火葬場

火葬場

	施設名	備考
新居浜市	新居浜市斎場	
	新居浜市大島火葬場	
別子山村	別子山村火葬場	

公営墓地の設置状況

新居浜市	別子山村	
第1真光寺墓地 第2真光寺墓地 土ヶ谷墓地 黒岩墓地 第1平尾墓地 第2平尾墓地 第3平尾墓地		計
7		7

現状

新居浜市、別子山村ともに自前の墓地、火葬場がある。

課題

互いに自前で利用しているため、合併をしても特に支障があるとは思えない。

葬儀や管理面からみても、現状のまま継続するのが望ましい。